

「令和元年度 第2回民間技術発表会」を開催します

仙台港湾空港技術調査事務所では、民間事業者が開発した新技術等を東北の港湾・空港整備に有効活用することを目的に、職員と民間事業者の方との意見交換の場として、民間技術発表会を開催します。

当発表会は、平成16年度から開催しており、これまでに延べ176の技術が発表されております。

今回、以下の5つの技術を発表しますので、お知らせいたします。

1. 開催日時: 令和2年2月7日(金) 13時30分～16時00分(受付開始: 13時から)
2. 開催場所: 国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 会議室
(仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟9F)
3. 発表論題
 - 1)【電気防食用流電陽極の出力電流逆解析工法】
潜水作業を不要とする陽極の残寿命推定を行う手法。
 - 2)【3D浚渫管理システム】
グラブ式浚渫船の施工状況をモニターの3D表示で可視化できるシステム。
 - 3)【棧橋工事へのCIMの適用】
CIMを適用した棧橋築造工事(ジャケット構造)の工事概要報告。
 - 4)【浮標画像追跡システム「i-ByTs」(アイ・バイツ)】
沖合の浮標をカメラで撮影し、画像解析によってリアルタイムに波高と周期を計測する技術。
 - 5)【ドローン搭載型グリーンレーザ計測器(TDOT Green)】
グリーンレーザドローンによる、陸部と水部を同時に三次元計測できる技術。
4. 発表要領
発表時間は1技術あたり25分程度

<発表記者会: 宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会>

< 問い合わせ先 >

国土交通省 東北地方整備局 仙台港湾空港技術調査事務所
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-1-35 三共仙台東ビル7F
副 所 長 工 藤 昭 光
技術開発課長 川 井 茂 電話 022-791-2114